



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年1月29日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名  
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 齊藤 隆 (TEL) 03-3462-8138  
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績 (平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	8,044	△2.7	375	27.4	672	15.2	481	8.2
30年3月期第3四半期	8,269	△12.5	294	△78.2	583	△64.2	444	△61.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	35.06	—
30年3月期第3四半期	32.41	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	46,567	40,688	87.4
30年3月期	47,318	41,454	87.6

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 40,688百万円 30年3月期 41,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	40.00	40.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	6.0	590	13.3	890	7.3	620	△61.6	45.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	16,500,000株	30年3月期	16,500,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	2,764,459株	30年3月期	2,772,257株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	13,732,907株	30年3月期3Q	13,723,215株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成30年4月1日から平成30年12月31日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善する中、景気は緩やかな回復基調が続き、個人消費は持ち直してきてはいるものの依然として力強さを欠き、また相次ぐ自然災害の影響や海外経済の不確実性、通商問題の動向等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化に加え、人件費や物流コストが増加するといった厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、新たな中期経営計画(2018年4月～2021年3月)を策定し、「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた事業基盤の構築」を基本方針として「選択と集中」「スピードと効率」「コスト管理の徹底」「経営基盤の強化」の基本戦略を推進し、「養命酒の売上回復」と「酒類食品分野の伸長カテゴリーへの注力」により事業の拡大と収益性の向上に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績は、売上高が8,044百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は375百万円(前年同四半期比27.4%増)、経常利益は672百万円(前年同四半期比15.2%増)、四半期純利益は481百万円(前年同四半期比8.2%増)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

#### ① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は7,772百万円(前年同四半期比3.6%減)となりました。

##### <養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、平成29年6月改正酒税法施行後の販売環境の変化を受け、小売店での店頭販売促進活動に注力し、店頭陳列の強化をはじめ、各種販促物の設置等に取り組むとともに、新たな販売チャネルとして保険薬局の開拓を強化しました。また、新規顧客の獲得と継続飲用者を維持するため、幅広い年齢層に向けてテレビスポット広告等の各種広告、ウェブキャンペーン等の施策を実施したものの、売上高は、5,801百万円(前年同四半期比7.1%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、商品理解の促進と購買意欲の向上を目指し、主要輸出先(台湾・香港・マレーシア・シンガポール)の市場環境に即した販売促進活動を実施しました。売上高は、279百万円(前年同四半期比17.4%増)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は6,081百万円(前年同四半期比6.2%減)となりました。

##### <その他商品・サービス>

「ヘルスケア」につきましては、「養命酒製造の黒酢」の保険薬局取扱店舗数の拡大に取り組みました。「ヘルスケア」の売上高は、89百万円(前年同四半期比100.4%増)となりました。

「酒類」につきましては、「フルーツとハーブのお酒」のコンビニエンスストアでの定番化や新規採用に向けた営業活動に取り組みましたが、前年上半期にコンビニエンスストア向け初回一斉出荷があったことの影響から、前年同四半期を下回りました。「酒類」の売上高は、575百万円(前年同四半期比12.6%減)となりました。

「食品」につきましては、10月1日に発売となった「養命酒製造のど飴」が、順調に売上を伸ばし、また「グミ×サプリ」も堅調に推移したことから「食品」の売上高は、497百万円(前年同四半期比27.3%増)となりました。

「リテール」につきましては、「くらすわ」、「養命酒健康の森」の売上が堅調に推移しました。「リテール」の売上高は529百万円(前年同四半期比7.7%増)となりました。

以上の結果、「その他商品・サービス」全体の売上高は1,691百万円(前年同四半期比6.7%増)となりました。

#### ② その他

不動産賃貸と鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は271百万円(前年同四半期比34.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ750百万円減少し、46,567百万円となりました。これは主に有形固定資産が賃貸用不動産の取得等により1,413百万円増加した一方で、現金及び預金が500百万円、長期預金が900百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の減少等により992百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ15百万円増加し、5,879百万円となりました。これは主に保有株式の時価評価の減少等により固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が237百万円減少し、流動負債のその他に含まれる未払費用が264百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ766百万円減少し、40,688百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が713百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)の業績予想につきましては、平成30年10月10日に発表いたしました通り、売上高11,300百万円、営業利益590百万円、経常利益890百万円、当期純利益620百万円となる見込みであります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,234,447	7,733,494
売掛金	2,415,890	3,118,400
有価証券	800,085	1,000,175
商品及び製品	475,428	453,701
仕掛品	117,986	128,802
原材料及び貯蔵品	1,013,856	976,515
その他	128,539	205,595
流動資産合計	13,186,233	13,616,685
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,248,710	4,024,609
その他(純額)	3,246,082	3,883,620
有形固定資産合計	6,494,792	7,908,229
無形固定資産		
	298,939	256,226
投資その他の資産		
投資有価証券	19,807,388	17,971,817
長期預金	3,700,000	2,800,000
その他	3,839,483	4,022,972
貸倒引当金	△8,414	△8,340
投資その他の資産合計	27,338,457	24,786,449
固定資産合計	34,132,190	32,950,905
資産合計	47,318,423	46,567,591
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	272,452	303,926
未払法人税等	79,708	13,793
賞与引当金	214,260	99,502
その他	851,752	1,174,851
流動負債合計	1,418,173	1,592,073
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	4,397,755	4,239,152
固定負債合計	4,446,105	4,287,502
負債合計	5,864,278	5,879,575

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	690,705	720,938
利益剰余金	37,480,062	37,411,103
自己株式	△4,975,884	△4,990,371
株主資本合計	34,844,883	34,791,671
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,609,587	5,896,344
繰延ヘッジ損益	△325	-
評価・換算差額等合計	6,609,261	5,896,344
純資産合計	41,454,144	40,688,015
負債純資産合計	47,318,423	46,567,591

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	8,269,878	8,044,595
売上原価	2,992,724	2,852,552
売上総利益	5,277,154	5,192,042
販売費及び一般管理費	4,982,380	4,816,470
営業利益	294,773	375,572
営業外収益		
受取利息	28,142	28,778
受取配当金	253,069	258,969
その他	18,057	19,652
営業外収益合計	299,269	307,400
営業外費用		
支払利息	9,893	10,286
その他	707	330
営業外費用合計	10,600	10,617
経常利益	583,442	672,355
特別利益		
投資有価証券売却益	40,280	—
特別利益合計	40,280	—
特別損失		
固定資産除却損	14,888	3,509
特別損失合計	14,888	3,509
税引前四半期純利益	608,834	668,846
法人税、住民税及び事業税	153,000	167,000
法人税等調整額	11,048	20,419
法人税等合計	164,048	187,419
四半期純利益	444,786	481,426

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。